



初秋の候、秋雨の蒸し暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。朝5時から揃って鳴き始めていたセミたちは、次第に始業時間を遅らせたのか、役目を果たして息絶えて減っていったのか、その声は、いつの間にか夜の虫の声に取って代わられました。いよいよ夏が終わりますね。

さて、夏の暑い中、子供相撲や燈籠祭などの伝統行事を支えて下さった皆様、大変お疲れ様でした。31日は猿浮立や風日浮立もあり、連日子供達へのご指導をされていることにも、毎年頭が下がります。どこでも後継者不足が共通課題でしたが、最近は3・40代のお父さんがお子さんを連れて来られる姿が目立つように感じます。機が熟すのを待ちながら伝統を地道に繋いできた成果が、これからじわじわと出てくるでしょう。行事の取材先で顔見知りの方に大勢お会いしました。それぞれの地元で中心となって動いている姿に、私も力をもらいました。

「五穀豊穡」。ご近所さんが皆ほろ酔いで奏でる奉納の鉦・笛・太鼓の音色が風に乗る風日（かざび）には必ずこの言葉を思います。老いも若きも一堂に会すさまは、まさに豊穡。このような年中行事を絶やさずに行いたいという思いを新たに、暦は「長月」を迎えます。

\*\*\*\*\*



小川内下（おがわちしも）班による勇壮な 長崎「蛇踊り」

8月17日（土）午後7時から、下不動区（駐在所付近）・丹生神社に於いて燈籠祭が行われました。呼び水として、嬉野ベンチャーズがリハーサルを兼ねて7時前から演奏を始めると、お客さんが集まり始めました。地区の若手の男性陣は、焼鳥や焼きそばを作ったり、ビールの販売をしたりと、手馴れたものです。

7時以降は、カラオケや子供達のダンス、子供浮立などが披露され、轟小の教室で会う子供達とは一味違う姿を見せてくれました。他に、恒例の「班対抗けん玉大会」では、一回で成功しない人は次々後ろの人に交代になるので、先頭は真剣な表情です。・・・が、後ろの人は前が気になるので覗き込む。その表情の差がなんともユニークで面白かったです。下不動区では班ごとの演芸にもこだわっていて、去年は左官屋さんの「こねた

ろう」でした。今回は、おととしに続いての小川内下班的「蛇踊り」です。道具も手作り、衣装の工夫も秀逸。爆竹の合図とともに入場すると、忠実に再現された演舞は観衆を魅了しました。女性はジャンというシンバルのような楽器で、独特な音でリズムを取ります。「この班は、実際に長崎に観に行って、そのビデオを見て研究して、ここまで作ったんだよ」と中村増幸区長はとても嬉しそうに区の歩みを話して下さいました。

お祭りの後には、神殿で鉦浮立が奉納されます。毎年ここでしかお会いできない方々との再会がとても楽しみです。若手がベテランさんに太鼓を習うのをお酒のあてに眺めながら、壁にもたれてお酒をクイッと……。皆さんめいめい、とても粋な姿で、宵のひと時を楽しまれます。こうして、奉納が受け継がれていくのだと、しみじみ感じました。

なおこのお祭りの模様は9月12日～14日まで、テレビ九州（11チャンネル）で、1日数回放映されます。ぜひご覧下さい！



えい！！



子供浮立と  
ダンス♪「パブリカ」



太鼓を伝授



嬉野ベンチャーズ（区の役員もこなしながら頑張ってます！）

八月十六日（金）には  
不動山・俵坂区公民館周辺  
でも燈籠祭が行われまし  
た。画像はNG（みんなシ  
ヤイなので）とのこと、せ  
つかくのイケメンが残念で  
すが、岸川さんによれば「以  
前は地区以外からもお客さ  
んが来て、そりゃあ賑  
やかだったん  
よ」だそうです。  
す。それでも、  
いつもお仕事や  
消防団でお会い  
する方が鉄板焼きをこなし  
たり、お堂をきれいに整え  
てお祭りを大切にされてい  
る一面を拝見できただけで  
も、貴重な体験をさせて頂  
いたと思います。皆さん大  
変お疲れ様でした。

たわらざか  
俵坂区燈籠祭